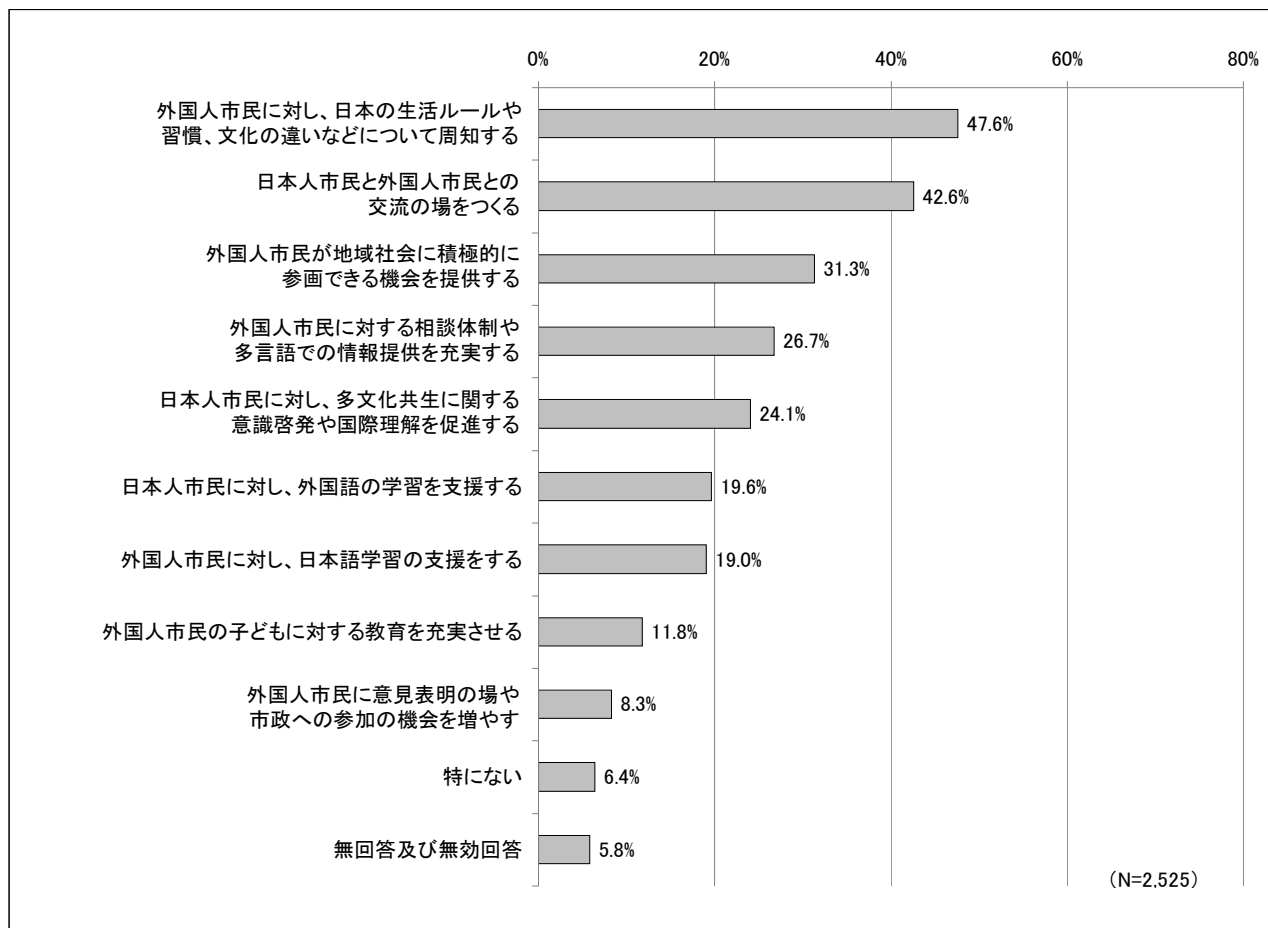


第8章 多文化共生社会について

多文化共生社会とは、「国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的違いを認め合い、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員として共に生きていくこと」です。

【問16】日本人市民と外国人市民がともに生活する「多文化共生のまちづくり」を推進するために、どのような取り組みが必要だと思いますか。(3つまで選択回答)



・「外国人市民に対し、日本の生活ルールや習慣、文化の違いなどについて周知する」と回答した人の割合が47.6%で最も高く、次いで「日本人市民と外国人市民との交流の場をつくる」42.6%、「外国人市民が地域社会に積極的に参画できる機会を提供する」31.3%、「外国人市民に対する相談体制や多言語での情報提供を充実する」26.7%と続いている。